

2019年

エスタス通信

如月

Estasucasa

認定NPO法人 エスタスカーサ



HOME PAGE
<http://estasu.org>

Facebook
<https://www.facebook.com/estasucasa>

エスタスカーサの現在 過去 … そして未来 #12

正月、親戚が揃い姪甥っ子や我が子たちと将来、何になりたいかの話しで盛り上がりました。一人は薬剤師、一人はリハビリの先生、他には電車の運転手、ゲームを作る仕事、動物に関わる仕事、公務員など意外と現実的で、私が夢描いていたプロ野球選手のような答えは出ませんでした。夢というより、どちらかと言えば安定した生活をしたい考えのようでした。残念ながら介護の仕事という答えは出ませんでした。また私自身、介護は良いよと言えない現実がありました。本来であれば様々な人の支えになり、とても必要不可欠で、やりがいのある仕事であるべき存在のはずですが、その前に、きつそうとか給料が安いという意見が出てしまいます。調べていくと業界別40歳モデル年収ランキングで、介護が最下位というデータなどありました。所得だけが全てではありませんが、将来を見るうえでは欠かせないことだとは思いますが。そんな中、今年10月、介護職員等の処遇改善のための新加算が創設されます。今回の新加算はとくに「経験・技能のある介護職員」の処遇改善を主眼としており、その加算率は「勤続10年以上の介護福祉士の割合」に応じて設定され、引き上げ幅も勤続年数10年以上(事業所の裁量)の介護福祉士を基本とする要件などが入る予定のようです。キャリアを重ねた人材を優遇することで、介護福祉士(介護職員)として働くことの将来像を描きやすく、介護の仕事に関心を持つ人を増やして離職者を減らしたいとの考えもあるようです。ただ介護福祉士の平均勤続年数は6年ほどで、対象となる勤続10年の介護福祉士は少ない、また資格は持っているがそのうち4割は介護職員以外の職についているという現実がありますので10年以上の介護福祉士・介護職員で意味を成すのか…。また加算は国から支給されたお金が一旦介護事業所に入り、事業所の判断で各介護職員にどの程度の賃上げを行うかが決定されます。実際に現場の職員に入るのは少ないかもしれません。多額の財源を投入するのですから、介護業界全体の底上げにつながる仕組みにしていきたい、そう願っております。これからも行政に協力いただきながら環境を整え、現場にいる人がやりがいのある仕事だと発信できるよう、子供たちになりたい職業に選んでもらえるようにならなければと思っております。

サービス管理責任者 岩下



正会員&賛助会員の皆様、寄附頂いた皆様へ お詫びと30年度カウント数についての説明

昨年12月に、正会員、賛助会員、そして寄附をいただいた皆様にクリスマスプレゼントとして藤里佳さんが描かれた絵と心温まる詩を一年間楽しんでいただける「ありかカレンダー」を贈らせていただきました。

この行為が、福岡市から対価性のあるものを提供した事となるため、平成30年度のカウントは認められないという連絡が入りました。

認定NPO法人になる時に、対価性のあるものを提供する事で賛助会員と寄附者を募ってはいけない事は指導されていましたが、今回のようにこれまでお世話になった方々への感謝の気持ちとして贈ったカレンダーについてそのような解釈をされるとは、露も思っていませんでした。

皆様から平成30年度に頂いたご支援について、カウント数に入れられない事は、支援者の想いを踏みにじる事になるのではないかと何度も掛け合いましたが、どんなに説明しても頑なな対応は変わる事はありませんでした。

このような状況を、皆様に赤裸々にお伝えすると、カレンダーを返却しますという方も現れる可能性がありますというお話をすると、返却されたという状況をデータに残しておけば、その方々については、認定継続のためのカウント数として認めますという見解でした。

今回のカレンダー贈呈に込めた気持ち、ご支援頂いた方々のひとりひとりの心を和ませてくれるのではないかとという想いが、いとも簡単に吹き飛ばされたように感じました。

また、上記のようなとてつもなくがっかりした回答に対して、認定NPO法人であり続ける意味についても今後深く考えていきたいと強く思いました。

これまでも福岡市の職員の方々の受け入れ等を行ってきて、NPO法人だからこそ行政とタイアップしてこれからの地域社会を創造していけるのではないかと強く思っていた矢先の出来事でした。ご支援頂いている方々の気持ちを裏切る行為として解釈されてしまった事につきましては、誠に申し訳ありませんでした。心よりお詫び申し上げます。

これまで、様々な生きづらさを解決する糸口はないかと様々な取り組みを行ってまいりました。その度に、様々な圧力にさらされ、凹む事もたくさんありましたが、ご支援頂いている皆様の温かい気持ちを糧に、これまでもこれから先も様々な苦難を乗り越えていきたいと思っております。これに懲りず今後ともご支援のほどよろしく願いいたします。

理事長 鶴田 文隆

おひさま発電所から



2018年
12月分お知らせ

発電量	85kWh
売電量	24kWh
買電量	345kWh
使用電力量	406kWh
累積発電量	17918kWh

